

平成 28 年 2 月 10 日

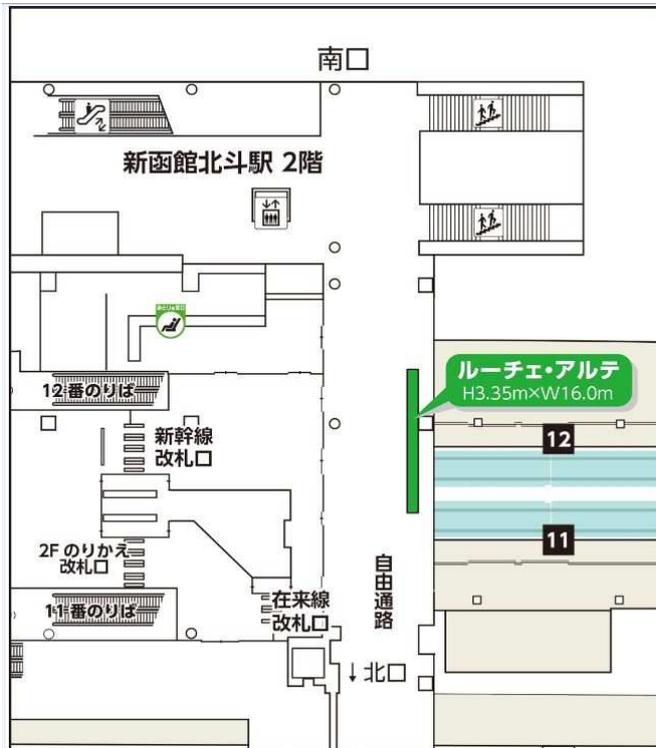
## 北海道新幹線新函館北斗駅における「光のアート」の設置について

JR北海道では、北海道新幹線新函館北斗駅に、公益財団法人日本交通文化協会から寄贈を受けた日本を代表する彫刻家・デザイナー五十嵐威暢氏による大型パブリックアート(ルーチェ・アルテ Luce Arte : 手吹きガラスを使った新しい光の造形)を設置します。あわせて、セレモニーを実施します。

### 1. ルーチェ・アルテ Luce Arte の概要

- ・ 作品題名 : 「ムクムク 水と光と大地に捧げる詩」
- ・ 制 作 者 : 五十嵐 威暢 (いがらし たけのぶ) 氏 (滝川市出身)
- ・ 構 成 : 手吹きガラスを使った新しい光の造形。大きさ 3.9m×4.5m など 5 個
- ・ 設置箇所 : 新幹線改札口正面の通路壁面

設置イメージ



### ①じゅんさい沼

じゅんさい沼の形をイメージさせ  
湖面の表情や周辺の透明な光、  
空気を表す。



### ②花のイメージ

大沼公園を彩る花のイメージや  
北斗市の花、マリーゴールドを  
表す。



### ③駒ヶ岳

緑輝く秀峰「駒ヶ岳」  
樹々の木漏れ日、  
ゆらぎをイメージさせる。



### ④大沼・小沼

大沼・小沼の形をイメージさせる。湖面の表情  
や周辺の透明な光、空気を表す。



### ⑤花のイメージ

大沼公園を彩る花や光の  
イメージを表す。



## 2. セレモニー

- 1) 日 時：平成 28 年 3 月 19 日（土）11:00～
- 2) 場 所：新函館北斗駅 新幹線改札口正面通路
- 3) 出席者（予定）： 作家 五十嵐威暢氏、高橋はるみ北海道知事、高谷寿峰北斗市長、  
本田勝前国土交通省事務次官、  
鉄道・運輸機構、日本観光振興協会、JR東日本ほか

## 3. その他

当日は10時30分より、北斗市観光交流センターのオープニングセレモニー（北斗市主催）もあわせて開催されます。



## 五十嵐 威暢 (いがらし たけのぶ)

彫刻家・デザイナー

1944年北海道滝川市生まれ。

1968年多摩美術大学デザイン科卒業後、渡米。カリフォルニア大学ロサンゼルス校(UCLA)大学院修士課程修了。1970年イガラシステュディオを設立。1975年より1年間UCLAの専任講師を務める。アクソノメトリック図法によるアルファベット作品を発表、世界的に注目される。また国内外の多くのVI計画を手がける。1980年代には、プロダクトデザインの分野にも進出。ニューヨーク近代美術館のグラフィック、プロダクトを制作。代表作に、同館のためにデザインした立体的数字によるカレンダーがある。その後、国際グラフィック連盟 (AGI) 会員となり89年まで6年間理事を務める。1994年ロサンゼルスへ本拠を移して彫刻家へ転身。2005年、故郷滝川市のプロジェクトを機に帰国、日本各地のパブリックアートを制作し続けている。

後世の育成にも積極的に関わり、千葉大学、カリフォルニア大学 (UCLA) で教鞭を、多摩美術大学美術学部二部 (後の造形表現学部) の創設に参加。日本初のコンピューターによるデザイン教育の基礎作りに参画、初代デザイン科学科長を務めた。

代表作はニューヨーク近代美術館をはじめ、世界35カ所以上の公立美術館に永久保存され、個人作品集は現在までに、日本・中国・韓国・ドイツ・スイスで出版されている。外務大臣表彰、勝見勝賞、毎日デザイン賞、IFデザイン賞、グッドデザイン賞など多数受賞。

道内の代表作に、滝川市一の坂西公園の高さ21mの鉄の彫刻「愛称：ニョキニョキ」、札幌駅の星の大時計、JRタワーのロゴマーク、滝川市立病院の木の彫刻「cosmos」、望楼NOGUCHI登別のロゴマーク及び彫刻、大通BISSEのエントランスに浮かぶ木の彫刻「sky dancing」、札幌駅パセオ地下広場の幅18mのテラコッタの壁面彫刻「テルミヌスの森」などがある。

2002年には五十嵐アート塾を設立し、地域の人たちと芸術・デザイン・まちづくりを学び合う活動を試み始める。

多摩美術大学学長を満期退任し、2015年4月、同大学名誉教授に就任。



大田区体育館「森と海と人の賛歌」(陶板レリーフ)



釧路空港「シュ、シャ、シッ 空と水と光に捧げる詩」(陶板レリーフ)